

第2630地区 多治見西ロータリークラブ

WEEKLY REPORT



「険道運荷駄図」

文化勲章受章者 荒川豊蔵氏 描



例会日 毎週木曜日
 事務局 多治見市新町 1丁目 23番地
 TEL 0572-25-5100 FAX 0572-25-5101
 n-rc@joy.ocn.ne.jp
<http://tajiminishi.jimdo.com/>
 会長 伊藤正雄 会報 松浦毅
 幹事 大澤大二 堀義紀

会長テーマ

家族愛 ファミリーなロータリー 愛と夢と展望

第2166例会 2010年11月11日(木)

本日のプログラム

点 鐘
 ローターソング 我等の生業
 四つのテスト
 会長挨拶
 出席報告・スマイル報告
 委員会報告
 幹事報告
 卓 話 各務和宏君
 点 鐘

・瑞浪 RC 11月19日(金) 午前8時
 モーニング例会「ミュージアム中仙道レストラン」

先週の記録

出席報告 (免除者 5名 内出席者 2名)

クラブ出席者	欠席者	出席率
26名	8名	76.47%

・多治見市交響楽団後援会にいつもご協力いただき有難うございます。今年は11月28日(日)に笠原のアザリアホールにて定期演奏会です。川村美富
 ・平成22年度岐阜県優良工事施行者表彰、都市建築部部長表彰を株式会社飯田建設が受賞しました。

飯田利夫

スマイル報告 投稿者 17名 合計 20,000円

着信書類

・ 地区大会事務所より 地区大会出席のお礼

他クラブ例会変更のお知らせ

・ 土岐 RC 11月13日(土)
 「奈良・橿原神宮と酒造見学」
 親睦家族会



来週18日(木)のお知らせ 「卓話」

地区ローターアクトカウンセラー 竹腰兼壽様
 地区ローターアクト委員長 長瀬 隆様
 地区ローターアクト副委員長 土本公彦様

11月4日(木)臨時総会開催。

例会終了後「指名委員会」を開催し、以下の皆様が指名委員に選出されました。

【Aグループ】関谷好弘 篠田博文 山口 寛

【Bグループ】佐藤 正 伊藤義弘 山田正史

【Cグループ】谷口津富 柴田雅生 齋藤 明

選出された9名で指名委員会を開催。

次年度(46期)会計1名 理事6名を選出。

次次年度(47期)会長につきましては諮問委員会にて選出、指名委員会にて承認を受ける。

理事会報告

・親睦家族旅行収支報告 承認

・親睦家族忘年例会について

日 時 12月16日(木) 点鐘 午後6時

場 所 グランドティアラ(夜間例会)

会 費 会員 : 3,000円

家族 : 3,000円

・45周年記念行事について

担 当: 理事会 実行委員長: 会長

45期分の活動計画書とクラブ定款をPDF化してCDを制作して配布する。

会長挨拶

新教育基本法が平成18年に施行され4年がすぎようとしていますが、家庭教育に関して「父母その他の保護者は、子の教育について、第一義的責任を有する。」(第十条)がはじめて明文化されました。地域でもなく、学校でもなく第一に重要なのが家庭教育であると宣言したわけです。そのころ西クラブの親子ふれあい活動が始まりました。地域として何らかの行動をとるという意志を示したわけで、時期的にも大変意義があるようです。

そんな時期に学校における降格人事を求める先生が圧倒的に多くなったようです。地位は主幹(以前は教務主任と呼ばれていました。)

それに比例して学校を退職する先生も多くなってきた。何か寂しい気がします。先生のストレスは相当なものと思われ、モンスターペアレントの存在、クレイマーからの圧力は相当なものと考えられ、大変な精神的圧力であるようです。学校教育において、生徒とともに成長する先生の姿を模索すべきかもしれません。

ひとつの考え

佐藤 八郎

不易流行という言葉があります。俳句の松尾芭蕉が言ったと伝えられます。不易とはいくつかの原則は不変の鉄則として維持されて行く。流行とは絶えず新しさを追求して行く。そんな意味でしょう。ロータリークラブでは創立から時を超えた絶対の真理。不易。そしてこれに対する時代や環境条件によるさまざまな変化、流行について色々議論されてきました。私はつい最近この不易流行について考えさせられました。さる高山における地区大会であります。あるロータリーの偉い方が「善行は陰徳にこだわらず堂々と世間に公開してロータリーの努力を知ってもらいましょう。そうしなければロータリアンの志が萎えてしまう。」と述べられました。これはまさに流行の考えです。私はこのロータリーの伝統的な慎ましさを否定し、自らのロータリーをひけらかすような考えが気になります。

今もロータリーは肅々と奉仕の理念と自己の研修に向かって頑張っているのです。ロータリーは人類文化史上最大の奇跡だと言う文化歴史学者もおられます。ロータリーの団体が世界中あまねく存在する事実もあります。基本的に認知もされています。

したがって、やはり広い意味での不易の範囲に留めていたほうが良いのではないかと思います。ロータリーの広報がいかに大切であるかは知っていますが、これでもか、これでもか、あれをした、これをした、とのマスコミに踊るロータリーを見るのもまことにつらい。会員減少の下でなりふりかまわず不易を流行にするロータリーの現況を残念に感じます。

小泉小学校 PTA 親子ふれあい活動

名古屋大学教授の高井吉明先生と60名の児童が液体窒素を使って楽しく実験しました。

「親子でサイエンスショー」

